

安比で開校に向け始動

ハロースクール安比校の開校に向けた調印式

英国の名門私立学校「Harrow School(ハロースクール)」のインターナショナルスクール安比校を開校する事業提携合意調印式は4月5日、ホテル安比グランドで行われ、岩手ホテルアンドリゾート(黒澤洋史社長)とハローインターナショナルマネジメントサービスリミテッド(以下、HIMS)が、令和4年8月の開校を目標とする事業提携を締結しました。

県内初となるインターナショナルスクールの安比校は、日本の小学6年から高校3年に当たる11歳から18歳までの7年間の全寮制。開校時は、日本国内と海外の中学生約500人が在籍し、最終的には920人までの生徒数を見込んでいます。場所は安比高原内を選定中で、約11%の土地に校舎や寄宿舎、グラウンドのほか、医療機関や商業施設を整備・誘致する計画です。

授業は全て英語で行われ、日本の文化を生かした学習内容を取り入れるほか、山が近く自然豊かな安比高原の環境を生かし、自転車やテニス、スキーやスノーボードなど特別な教育プログラムを盛り込む予定。

ハロースクールのバッチング氏は「アジアで5つ目の学校が安比に設立される年に、ロンドンのハロースクールは450周年を迎える。その節目の年にまた安比を訪れることを楽しみにしたい」と期待しました。

話題 ピックアップ

まちのニュース

皆さんからの情報をお寄せください。
企画財政課広報広聴係 ☎・内線1202



握手を交わす黒澤社長(左)とHIMSのエリック・リヨン氏

地域おこしの活動を報告

地域おこし協力隊卒業報告会

地域おこし協力隊卒業報告会は3月27日、市役所で開かれ、30年度で任期を終える阿部文子さん、玉木陽子さんが約3年間の活動内容を発表しました。

阿部さんは、馬を活用した安比高原の芝草原再生などの取り組みを発表。卒業後も定住し、馬を介して人とつながる活動を続けていきます。玉木さんは、山菜や郷土のお菓子の研究、パン作りの資格取得など、食に関する活動を発表。卒業後も定住し、商品開発や販売に取り組んでいきます。



手作りの細長いパン(グリッシーニ)を振る舞う玉木さん

この広告は、広告主の責任において市が掲載しているものです。広告の内容について市が推奨などをするものではありません。

耳鳴り、めまい、聴力低下、腰痛症、不眠症、不妊症、月経痛等 お困りの症状を御相談ください

漢方のあさひ薬局

御相談予約専用 携帯からもご利用できるようになりました!

☎0120-204077



本 店/八幡平市大更25-118-1(国道282号沿い) TEL.0195-75-2227
西根中学校前店/八幡平市大更24-1-118(西根病院そば) TEL.0195-70-2311

<http://www.facebook.com/asahi.kanpou>

<http://www.asahi-kanpou.com/>





入学祝い品を受け取る羽澤颯人君(左)と関さん(右)

希望を胸に新学校生活

市内小・中学校入学式

市内小・中学校の入学式は4月4日から8日にかけて行われ、小学校10校で155人、中学校4校で172人の新生が学校生活をスタートしました。

4月6日に行われた安代小の入学式では、小雪が散らつく肌寒い天候のなか、15人の新生が元気よく式典会場に入場。名前を呼ばれると体育館いっぱいに大きな声を響かせました。

入学祝い品を受け取った関菜和さんは「小学校では算数を頑張りたい」と目を輝かせていました。

全国の経験糧に成長誓う

市内の生徒4人がリトルシニア全国大会出場

市内の生徒4人が所属する盛岡姫神リトルシニアは3月26日、大阪を中心に開かれた第25回日本リトルシニア全国選抜野球大会に出場しました。

所属するのは、西根中の高橋勇慎、工藤緑、門屋佳一郎と安代中の北館遥希の3年生4人(敬称略、学年は新年度)。初戦に前年優勝の世田谷西と対戦し、0対6で敗退しました。主将の高橋さんは「全国大会という舞台で野球ができたことに感謝し、夏も全国大会出場を目指します」と意欲を高めました。



大会前に市役所を訪れて市長へ意気込みを示しました

八幡平に待望の春訪れ

八幡平アスピーテライン開通式

八幡平アスピーテライン開通式は4月15日、松尾八幡平ビジターセンターで行われました。

当日は、悪天候のため開通式の会場を緑ヶ丘ゲートから同センターに変更。観光関係者らが集まり、八幡平の観光シーズンの到来を祝いました。

今季の雪壁は、例年よりも1m高く、最大約8m。全国の雪の回廊と比較しても距離が長く、壁が高いのが特徴で、八幡平を含めた観光ツアーなどにより県内外や外国からの誘客を図ります。



開通を祝いテープカットを行う関係者

山菜味わい今後に語らい

八幡平山菜栽培研究会「山菜まつり」

八幡平山菜栽培研究会(遠藤光明会長)は3月22日、友好都市交流促進センターで、会員相互の情報交換を目的に山菜まつりを開きました。

会員や関係団体ら約30人が参加。①マイルドばっけ ②八幡平みどり(うるい)③八幡平バイオレット(ニンニク)④八幡平行者の市登録4品種の種苗配布状況や販売実績を確認しました。情報交換では、市場や産直関係者へ消費者が求めるサイズや形などについて質問が飛び、販売拡大へ向けて意見が交わされました。



会員が栽培したばっけやニンニクを使った料理を試食

地域を守る頼れる存在

市消防団辞令交付式

市消防団辞令交付式は4月4日、市役所で行われ、昇格25人、新入団員14人に辞令が交付されました。

田村正彦市長は「どこの市町村も団員の確保を課題としている中で、たくさん入団していただいでうれしい。早く消防団や機械の操作に慣れて、活動を頑張してほしい」とあいさつ。

式に出席した新入団員の菅原涼介さんは「火災や災害の際には、地元の人に頼られる存在になれるように訓練を頑張りたい」と決意を新たにしました。



新入団員一人一人に辞令が手渡されました

漆工技能の継承が高評価

厚生労働省の「地域発! いいもの」に選定

市安代漆工技術研究センターの漆工技術後継者育成事業が、厚生労働省の30年度「地域発! いいもの」に選ばれ、3月27日に市役所で選定証が贈られました。

希少性の高い漆工技能者を30年以上にわたり育成し、安比塗の伝統技能を継承してきた取り組みが評価されました。「地域発! いいもの」は、地域の産業振興や技術者育成など特色ある取り組みを選定、周知し、地域活性化を図るのが目的。28年度に開始してから3年間で26事業が選ばれ、本県からの選定は初めてです。



県職業能力開発協会寺本事務局長(右)から楯が贈られました

すなっぶギャラリー



青少年派遣事業を活用し海外留学や研修の成果を市長に報告する学生4人(3月20日、市役所)



団員を代表し決意表明する寺田相撲スポーツ少年団の工藤琉誠君(4月14日、市スポーツ少年団結団式)



4月1日から2年間の任期で松野・寄木区域の農地利用最適化推進委員に小原ふく子さんを委嘱



副市長から高橋沙紀さんと佐藤みどりさんへ修了証書を授与(3月28日、安代漆工技術研究センター修了式)



西根中吹奏楽部と共演者らとの合奏。同部スプリングコンサート(3月30日、西根中体育館)